日本海新聞　（第３種郵便物認可）

鳥取県高校総体代替大会

新型コロナウイルスの影響で中止となった鳥取県高校総合体育大会の代替大会が13日、県内各地で本格的に始まった。ボートの男子シングルスカル決勝は、金沢遥叶（米子工3年）が大差で優勝を果たした。カヌーのカヤックシングル男子は川元蒼真（倉吉総産3年）、女子は長尾葉花（倉吉総産2年）が頂点に立ち、男子カナディアンシングルは小寺跳馬（倉吉総産3年）が初の栄冠を手にした。テニスの男子ダブルスは、鳥取東の尾崎・上野組が個人戦初優勝を飾った。

待ちわびた舞台 全力で

バレー
（鳥取商体育館ほか）

【男子】
▽A組
鳥取商2 25―19 25―20 0鳥取東
鳥取工2 25―21 25―19 0岩美
鳥取商2 25―6 25―9 0岩美
鳥取工2 25―19 25―15 0鳥取東
鳥取商2 25―17 25―15 0鳥取工
25―12
鳥取東2 25―20 25―16 0岩美
▽B組
八頭2 25―11 25―8 0鳥取湖陵
鳥取商2 25―20 25―23 0鳥取西
八頭2 25―15 25―9 0鳥取西
鳥取商2 25―18 25―9 0鳥取湖陵
鳥取西2 25―17 25―16 0鳥取湖陵
鳥取商2 25―15 25―16 0八頭

【女子】
30―28
▽A組
鳥取商2 25―9 25―8 0鳥取西
岩美2 25―3 25―8 0鳥取敬愛
鳥取商2 25―5 25―17 0鳥取敬愛
岩美2 25―2 25―4 0鳥取西
鳥取西2 25―16 26―24 0鳥取敬愛
岩美2 25―7 25―10 0鳥取商
▽B組
鳥取城北2 25―4 25―4 0青谷
鳥取東1 25―20 19―25 1八頭
鳥取城北2 25―21 25―16 0八頭
鳥取東2 25―4 25―9 0青谷
鳥取城北2 25―18 25―18 0鳥取東
八頭2 25―8 25―11 0青谷
（ゲームは2セットマッチの特別ルール）

八頭―鳥取城北　八頭は第2セット、阪田（1）のスパイクで10―15と追い上げる＝鳥取商体育館

「粘れた、悔いなし」
八頭女子 阪田主将

新チーム移行後に部員不足や新型コロナウイルスの影響で一度もユニホームを着る機会がなかった八頭の女子。待ちに待った大会に、3年の阪田穂乃香主将は「あることを信じてやってきて良かった」と汗を流しながら満足顔だった。

1月の新人大会は、2年生3人と1年生1人の計4人しかおらず出場できなかった。新入生が入部するまで、地味な基礎トレーニングにも弱音を吐かずに取り組んだ。

何とかメンバーがそろった4月はコロナ禍に巻き込まれた。中国選手権予選、県総体の中止が決まり、目標を見失った。引退も頭をよぎったが「同級生と一度は同じコートで試合をしたい」と踏みとどまった。

「自分を信じて仲間を信じて」が同校のスローガン。苦楽を共にした仲間と数プレーごとに床の汗を拭わなければならないほどの勢いでボールを追った。

チーム力ナンバーワンを目標に掲げ、主将として初めて試合に臨んだ17歳は「楽しんで粘り勝つプレーができた。悔いはありません」とすがすがしい表情でコートを去った。

（後藤昇一郎）

日本海新聞
令和２年６月１４日掲載
（許可を得て掲載しています）